

平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	スポーツ施設の自然冷媒冷却装置導入促進事業 (文部科学省連携事業)		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25~27年度		担当課室	地球温暖化対策課 フロン等対策推進室		室長 高澤 哲也	
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		施策名	1-2国内における温室効果ガスの排出抑制 2-1オゾン層の保護・回復			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ、 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3項		関係する計画、 通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	省エネルギー性に優れ、かつ、フロン類冷媒に比べて格段に環境負荷の少ないアンモニア等の自然冷媒を利用した冷却装置をスポーツ施設への導入を進めることによって、使用電力の節減によるエネルギー起源CO2の削減、フロン類の排出削減を図り、地球温暖化防止を促進させるとともに、スポーツの振興及び国民の自然冷媒への理解に資するものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アイススケートリンク等に使用されている冷却等装置は、モントリオール議定書により2020年までに我が国での生産・消費が全廃されるハイドロクロロフルオロカーボン(HCFC)を冷媒として使用している事例が多く、近く機器の入れ替えが起こると考えられる。そこで、アイススケートリンクを始めとするスポーツ施設における冷却装置について、省エネ自然冷媒冷却装置を導入しようとする地方公共団体及び民間事業者に対して、当該設備導入の事業費の一部(フロン類冷媒を使用した同等の冷凍能力を有する装置を導入する場合の費用との差額の2分の1)を補助する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	-	400
	執行額	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)
	省エネ自然冷媒冷却装置導入による温室効果ガス排出削減量		成果実績 t-CO2/年	-	-	-	10,000
			達成度 %	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	27年度活動見込
	省エネ自然冷媒冷却装置導入数(累計)		活動実績 (当初見込み) 箇所	-	-	-	-
				-	-	-	20
単位当たりコスト	6,667 (円/t-CO2)		算出根拠	1施設当たりのエネルギー起源・非エネルギー起源CO2の排出削減効果は、約500t-CO2/年、施設の耐用年数を15年、1施設当たりの補助額を50万円とすると、 50万円/(500t-CO2×15年)=6,667円/t-CO2			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	-	400	-			
	計		400				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地球温暖化対策に係る中長期ロードマップでは「ノンフロン製品等の普及加速化」が主要対策の一つとして位置づけられており、実効性かつ即効性のある温室効果ガス排出抑制対策技術の導入普及が不可欠であることから、国が率先して行うべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	補助対象事業者の選定に当たっては公募を行い、費用対効果、CO2削減量等を総合的に勘案して選定する予定。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	当該事業については、自然冷媒冷却装置をスポーツ施設に普及させることにより、温室効果ガスの排出抑制に加え、スポーツの振興及び国民への自然冷媒の理解を促進するものであり、このような事業はほかにない。また、公募等に当たっては、文部科学省と連携することとしている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 特になし	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・当該事業は、自然冷媒冷却装置をスポーツ施設に普及させることにより、温室効果ガスの排出抑制に加え、スポーツの振興及び国民への自然冷媒の理解を促進するものである。このような事業はこれまでになく、公募等に当たり文部科学省と連携することにより、効率的な事業実施を図ることとしている。</p> <p>・地方公共団体及び日本スケート連盟からの要望等が寄せられているものであり、ニーズがあるものと考えている。</p> <p>・地球温暖化対策に係る中長期ロードマップでは「ノンフロン製品等の普及加速化」が主要対策の一つとして位置づけられており、実効性かつ即効性のある温室効果ガス排出抑制対策技術の導入普及が不可欠であることから、国が率先して行うべき事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		省エネルギー・環境負荷の少ない自然冷媒を最大限に活用し、今後の普及が進むよう、削減効果の算出等見える化も次年度以降実施することを視野にいれ事業実施に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-